

加古川の隠れ家うどん  
うを吉さん

社長 尾上大輔

前から  
気に  
なって  
いたう  
どん屋  
さん。  
麵にこ  
だわっ



プラザ平津

たお店で『うを吉さん』。宝殿駅  
の東南の平津シヨッピングセン  
ター遺跡（すぐく古き良き時代  
の）に1店だけ営業しているお  
店で、店主のこだわりでおいし  
い麵をつくっているときく。通  
りがかりに寄ってみようと見て  
いていたが、一向にめぐりあえ  
ない。今日はみとろフルーツパー

クのレス  
トランで  
長い行列  
だったの  
で、他へ  
行くこと  
に。そこ  
で行きた



かった。うを吉さんへ向かった。  
14時までの営業時間内とか、  
あと1時間か？到着すると満席  
なので名前を書いて外で待つ。

どんどん客が帰って行くが一向に呼ばれない。『ガラマンガラント』  
 『少々お待ち下さい』もう席は一杯空いているが座らせてくれない。これは何かお店の事情があるんでしょうかね。たぶん人手不足で席はあるがかたづけが間に合わない。やっと席に案内されて一安心。まず、ビールを

第243号

BenHouse

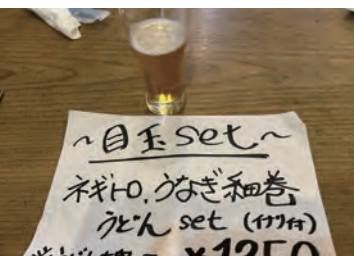
(記事はあくまでも個人の私感でございますので悪しからず。)

[www.benhouse.co.jp](http://www.benhouse.co.jp)


うどん

[illegible]

たのんでから、他の人が食べている物を観察、皆さんうどんと寿司のセットをオーダーしているみたい。メニューも見たが、何より気になるのはマジックで書かれた手書メニュー。目玉セット ネギトロ・うなぎ鰻巻・うどん set (イナリ付) \* うどん 大盛り不可 ¥1350 と書いてある。『大盛不可は冗談ぽい』太ちゃんには迷いに迷った末、目玉セットを、京ちゃんはおき揚げうどん ¥1200 を注文。『おき揚げは今から揚げるので 20 分位かかりますよ』



『OKです。10分位して、うどんが登場。けっこう大きな鉢に入っている。麺は1.5玉入っているかな。ビールのつまみにうどん？なんて思いながら、寿司を待つ。やっと寿司が登場して写真撮影。その頃にはカマボコとかネギのトッピングはなくなっていました。ちよとシヨボイ写真かなと思ったいたら、これへ真打登場。』何々、大きな鉢いっぱいのかき揚げ、直径25センチ厚さは3センチ位。浅草のかき揚げが思い浮かぶ。さすがにもったいつけられた理由も理解した。京ちゃんもビックリして半分くれるという。おかげで大ちゃんの素うどん





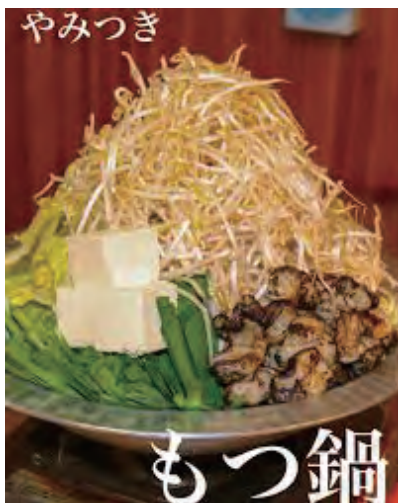
んもか  
き揚げ  
うどん  
にバー  
ジョン  
アップ  
です。

しかし



この量にはビックリです。おも  
うまの店が脳裏にうかんできた。  
ギャル曽根のお顔もつかんでき  
た。どうしようかと思う程の量  
です。とりあえずうどん鉢を片  
付ける事にする。上にのっつい  
るかき揚げを口に運ぶがかな  
か減らない。大食いのTV番組  
を思い出す・こればかり食べて  
いるとだんだん油にやられそう  
になるのでおつゆもする。やっ  
とかき揚げ半分と麺が残りまし  
た。人間、がめられないほうが良  
いですね。ここは播州でも一番  
のおもつまい店に認定ですね。  
いつもはおつゆまで飲み干すの

に、今日はのこしてしもた。完  
敗であります。もう寿司の方は  
かんべんしてもらって、ビニー  
ルの袋に入れて持ち帰りました。  
後日談、家での晩御飯はこれで  
充分でありました。店主さんス  
タッフさんも良い人で、またお  
じゃましたいと思います。昼は  
うどんと丼で、夜は宴会も受け  
る居酒屋さんになります。宴会  
メニューは炙りホルモン鍋だそ  
うです。炙ったホルモンを鍋に  
入れるらしい。写真を見ると黒  
く炙ってある。何かおいしそう  
ですね。日本中でもめずらしい  
メニューなので、是非次回を挑  
戦したいと思います。



## 栃木営業マンの おすすめスポット

営業 栃木陽紀

年末に鳥取県にある大江ノ郷へ  
行ってきました。訪れるのは大  
学生の時からで、気づけばちょ  
うど5年ぶり。久しぶりのドラ  
イブで、少し懐かしさを感じな  
がら現地に到着しました。自然  
に囲まれた落ち着いた雰囲気は  
以前と変わらず、到着した瞬間  
から気持ちが変わったりとほどこ  
ていくようでした。まずはうど  
んをいただきましたが、素朴な

からも

しっか

りとし

たコシ

があり、

体に

すっと

染みる



優しい味わいでした。その後  
食べた名物のパンケーキは、ふ  
わっと軽く、卵の風味が感じら  
れる贅沢な一品で、思わず笑顔  
になる美味しさでした。学生時  
代とは違い、味わいながらゆっ  
くり過ごせたのも印象的です。  
施設内を少し散策すると、年末  
らしい穏やかな空気が流れてい  
て、観光地でありながらもどこ  
か日常に近い安心感がありまし  
た。忙しい年末の中で、時間の  
流れが少し緩やかになるような  
心地よいひとときでした。久し  
ぶりに訪れてみて、大江ノ郷の  
魅力を改めて実感できた一日  
だったと思います。

